

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	地域の自然や伝統文化資源を活用した魅力ある地域作り事業
対象地域	北海道池田町、本別町、足寄町、陸別町
対象地域の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">東北部4町</p> <p>【位置図】北海道十勝地方の上記鉄道沿線の4町      【ふるさと銀河線廃線後の荒廃したホーム】</p> <p>4町の総人口数を見てみると、1996年と比べ2008年は約16% (5,285人) 減少し、20年前の1988年からでは、約30% (10,937人) も減少している。特に、2006年のふるさと銀河線が廃止になって、約2年で銀河線のみ沿線3町の人口は本別町で4.2%、足寄町で4%以上も減少し、陸別町においては5.4%も減少している。そのため、陸別町では3,000人を割り込んで地域では深刻な問題となっている。</p> <p>また、高齢化率はきわめて高く、2008年3月時点で、4町平均は60歳以上が40.1%を占め、うち80歳以上が9.6%であるが、すでに池田町は9.8%、陸別町は11.1%で、他2町もまもなく10%になる。少子化についてもここ数年、郡部の小学校の統廃合が進んでいる。</p>
提案内容の概要	<p>地域資源の発掘と地域住民を担い手とした持続可能なプログラム作りを行い、フェア等への参加により、広域連携を活かした魅力ある地域PRやプロモーション活動を実施する。将来的には交流人口の増加による地域の定住人口の増加を図ることを目的とし、新たなコミュニティビジネスによる雇用の確保なども視野に入れる。</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>4町を貫き100年以上続いた国鉄「池北線」が、平成元年に第三セクター「ふるさと銀河線」へと変貌を遂げ営業してきたが、地域の過疎化で乗降客が激減、開業当初は約90万人あった乗降客が平成16年には約4.5万人と半減し、平成18年を以て廃線となった。この池北4町の動脈だった鉄道の廃線により、陸別町を始めとした沿線町の地域はますます衰退し、4町の中では既に限界集落に達した地域も存在しており、今後増えていくものと思われる。また、小中学校の統廃合も進み、若者の流出も増えており、他地域に比べて少子高齢化が急激に進んでいる地域である。</p>
(2) 活動内容の案	<p><b>活動①</b> : 地域資源のメニュー作り</p> <p><b>内容</b> :</p> <p>当該4町の行政以外にNPO法人、体験事業者、地域住民が主となって、産学官の特色ある地域資源を発掘し活動を展開するとともに、地域や北海道内外の人がそれを体験・習得できるようなプログラムを開発する。(修学旅行、教育旅行、団体旅行で4町に滞在し、効率良くその地域資源の魅力を体感してもらえる体験メニュー作りなど)</p> <p>例えば、地方債再建団体からワイン作りで復活した地域産業を知る体験(池田町)、豆産地から新ブランドを確立した町での一次産業加工体験(本別町)、国立公園や間伐材利用などの環境問題に取り組んでいる町での環境教育プログラムの実践(足寄町)、ふるさと銀河線廃線後に「りくべつ鉄道」として再出発した歴史ある鉄道遺産を学ぶ体験(陸別町)。</p> <p>また、高齢社会で困っている農業や林業、除雪などの体験メニューを開発して実施・検証する。これに関わる人材の育成事業は別途実施する。</p> <p><b>活動②</b> : 情報発信</p>

	<div data-bbox="347 129 443 165" style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">内容</div> : 道内外におけるフェア等への地域PR事業と冊子作成、旅行会社等へのプロモーションを実施する。
応募団体名	特定非営利活動法人 自然体験学校
リンク	<a href="http://www.shizentaiken.com/">http://www.shizentaiken.com/</a>
部局／担当者名	自然体験学校 とかち校 / 竹内 みか・中村 美緒
連絡先	電話 015-572-5929 / ファックス 015-579-2188 / E-mail info@shizentaiken.com
推薦市町村名	北海道本別町